

柏市立田中小学校・新設小学校市民ワークショップ  
第4回目 概要報告資料

・開催日時：2020年2月2日（日） 午前10:00 - 午後12:30  
 ・場所：田中北小学校  
 グループワーク：新設小の未来の宝「森をつくろう」

■グループワーク：模型を使った計画案の作成(コンセプト)

	班	要望・意見	要望・意見の対応
タイトル	A班	いこいの森	
	B班	学びといこいの森	
	C班	安全と自然を考える森	
	D班	まなびの森	
	E班	やすらぎのもり	
コンセプト	A班	子どもが運動ができ、生き物・植物と触れ合え、休日等は地域開放により憩いの場となる森	児童の安全面に配慮した、学習や運動を通して自然と触れ合える森を目指します
	B班	通常は児童の学習・遊び・体力づくりの場、解放時は地域の憩いの場、放課後などは児童、地域のコミュニケーションの場となる森	
	C班	大人は、森の中での安全を考え、児童は、森に触れ体験することで自然を考える あまり手が入っていない自然を通して、みんなが考え成長できる場となる森	
	D班	地域利用をメインとして考えるのではなく、こどもたちの学習に使える場となる森	
	E班	子供たちの学習と運動、地域の方との出会いの場となる森	
遊歩道の考え方	A班	子どもがマラソン大会で利用できるコンクリート舗装の遊歩道を外周に設け、その内側に地域の方が散歩等で利用できるウッドチップ遊歩道を設けたい	森の中を散策やランニングで利用できる大回りの遊歩道の整備を検討します
	B班	森の中を大きく歩き回れるようにしたい。ランニングにも使えとよい 道路周辺にベンチを置いて交流の場にしたい。	
	C班	児童が自然に触れたり体験しに行く際、安全に森の中を誘導する通路として整備したい	
	D班	森の中を大きく歩き回れるようにしたい	
	E班	森の中を大きく歩き回り、一周する間に、様々な自然体験ができるゾーンを設けたい	

	班	要望・意見	要望・意見の対応
森に設置したいもの	A班	昆虫採集が出来る木々、ピオトープ メンテナンスが不要な遊具 地域がキャンプを行える芝張広場、ベンチ	出来るだけ森の保存に努めて整備します  学習(デッキ、広場等)、運動(木製遊具、遊歩道等)、憩いの場(ベンチ等)として利用できるものを、管理面を考慮して設置検討を行います
	B班	憩いの場としてベンチ、東屋 学習の場として屋外ステージや畑 学習に向けた木の植樹、遊び場になる運動遊具	
	C班	素朴な木製遊具や畑など自然の感触を多彩に感じることが出来るもの	
	D班	学習に活用できるものを設置する 中央に広場+ベンチ 学校に近い側に畑、道路に近い側に花畑 遊歩道舗装はウッドチップ	
	E班	分散した位置に三つのデッキ広場、遊歩道沿いにベンチ、木材を活用した遊具、北側に果実のなる樹木エリア、遊歩道舗装はクレイ舗装	
安全管理・維持管理	A班	地域住民や里山を守る会との連携ができると良い 地域参加が難しければ、業者による維持管理を行わないと厳しい(学校による管理は無理) 見通しや、倒木を考慮して樹木伐採も考えられる	倒木の危険性や見通しを配慮し、樹木医診断の結果を基に、一部伐採を検討します  地域開放について、児童の安全面に考慮して土日、祝日の限定的な開放とする方向で検討します  セキュリティに配慮し、管理のしやすい出入口を検討します
	B班	森を使うなら見通しをよく整備すること 授業中は学校のみ利用とし、放課後・休日は地域開放としたい	
	C班	子どもたちの安全を考えると、関係者以外の立ち入りは限定的なものにしたい 倒木などの危険性を把握した整備とする 遊歩道などの見通しの良い安全地帯をしっかり作る	
	D班	死角が出来ないように木は伐採し、スッキリと見通しを良くする 外部から直接入れる出入口は設置せず、学校内側からのアクセスとする	
	E班	地域開放は、土日や放課後の限られた時間等、限定的に行うほうが安全 地域のアクセスは校門からグラウンド経由でなく駐車所側からの一つでよい	